

GRIPS 開発フォーラム ウェビナー

「TICAD 8 に向けて:アフリカを取り巻く情勢と新たなパートナーシップのあり方」

2022年8月27・28日、チュニジアで第8回アフリカ開発会議(TICAD)が開催されます。今般は、コロナ禍そしてウクライナ情勢のアフリカへの影響が懸念される中、複雑な局面での開催となりますが、日本のアフリカ開発へのコミットメントを示す貴重な機会にもなります。日本は今までのアフリカとのパートナーシップをどのように改定、また発展させていけばよいのでしょうか。

この重要な機会をとらえて、GRIPS 開発フォーラムは、仏国際関係研究所(IFRI)の日本専門家で、日本・東アジアを取り巻く安全保障を中心に研究するセリーヌ・パジョン研究員、国際協力機構(JICA)において長年アフリカとのパートナーシップ強化に取り組まれてきた加藤隆一上級審議役、味の素(株)の西アフリカでの長年の事業経験をふまえガーナで栄養改善に取り組む公益財団法人味の素ファンデーション/KOKO Plus Foundationの高橋裕典カントリーダイレクター、そして国連工業開発機関(UNIDO)本部の安永裕幸事務次長をお迎えして、日本とアフリカのパートナーシップのあり方を考え、今後の展望について議論を行います。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

日時: 2022年7月13日(水) 17:00 - 18:30 (日本時間)

場所: ZOOM

言語: 英語(通訳なし)

申込方法: 下記リンクよりご登録をお願いいたします。

https://zoom.us/webinar/register/WN_js1z7HLbSa21vqOCL8jZ1A

* ご登録いただいた個人情報は、開発フォーラムのイベントや勉強会の案内の送付以外には使用いたしません。お名前はイニシャルやニックネームではなく、本名でのご登録をお願いいたします。

議事:

- 17:00~17:10 趣旨説明・パネリスト紹介 大野泉教授(GRIPS)
- 17:10~17:20 「変動する国際情勢と、日本の対アフリカ戦略の方向性」
セリーヌ・パジョン氏(IFRI)
- 17:20~17:35 「国際社会に向けて重要性を増すアフリカ—選ばれる日本になるために」
加藤隆一氏(JICA)
- 17:35~17:50 「ガーナ栄養改善プロジェクトの経験から(仮)」
高橋裕典氏(KOKO Plus Foundation)
- 17:50~18:20 Q&A・ディスカッション
モデレーター 上江洲佐代子研究員(GRIPS)
- 18:20~18:30 総括コメント
安永裕幸氏(UNIDO)
- 18:30 閉会

登壇者 プロフィール



セリーヌ・パジョン氏

仏国際関係研究所(IFRI)にて、アジア研究センターの日本研究主任。キャノングローバル戦略研究所 国際研究フェロー等も兼任。専門は、日本の外交・防衛政策及びインド太平洋における国際関係。



加藤隆一氏

国際協力機構(JICA)上級審議役。長年、アフリカの開発・支援に従事し、TICAD プロセスにおいて官民連携等のパートナーシップ強化にも携わる。JICA アフリカ部部長、総務部審議役、セネガル事務所長等を歴任。



高橋裕典氏

公益財団法人味の素ファンデーション/KOKO Plus Foundation カントリーダイレクター。(株)味の素で、リジン等アミノ酸の活用に関する研究に従事。「九州力作野菜®・九州力作果物®」プロジェクト等を経て現職。



安永裕幸氏

国連工業開発機関(UNIDO)本部事務次長。専門は、天然資源及び産業科学・技術開発。UNIDO 東京投資・技術移転促進事務所所長、産業技術総合研究所(AIST) 参事等を歴任。